

岩手医科大学 第40回 市民公開講座

テーマ：新しい岩手医科大学附属病院とチーム医療

【期間】 令和元年 7月30日(火)～8月1日(木)

【会場】 岩手医科大学矢巾キャンパス 大堀記念講堂



【開講式】

7月30日(火) 13:00～13:15

7月30日(火) 13:15～14:45 『世界に冠たる新病院を目指して』

講師：小川 彰 学校法人岩手医科大学 理事長

7月31日(水) 10:20～11:50 『これからの医療はどこへ向かうのか -岩手医大と総合診療の役割-』

講師：下沖 収 岩手医科大学附属 内丸メディカルセンター長

7月31日(水) 13:00～14:30 『口腔から繋がる健康長寿』

講師：小林 琢也 歯学部 補綴インプラント学講座 摂食嚥下・口腔リハビリテーション学分野 教授

8月1日(木) 10:20～11:50 『あなたの知らない生活習慣病の世界～知っているようで知らない生活と病の関係～』

講師：三浦 幸枝 看護学部 共通基盤看護学講座 特任准教授

8月1日(木) 13:00～14:30 『我が国における医療の近未来と新しい岩手医科大学附属病院』

講師：小笠原 邦昭 岩手医科大学附属病院 病院長

【閉講式】

8月1日(木) 14:30～14:45

受講料無料（事前のお申し込みが必要です） 申込締切：令和元年 7月26日（金）

申込方法：Faxまたは郵送で受講申込書をお送りください。

申込書は大学ホームページからもダウンロードできます⇒ <http://www.iwate-med.ac.jp/>

申込先：岩手医科大学 全学教育企画課（市民公開講座担当）

〒028-3694 紫波郡矢巾町医大通一丁目1番1号

Tel 019(651)5111 (代表) (内線5017) Fax 019(698)1826



共催：矢巾町、矢巾町教育委員会

後援：岩手県教育委員会、盛岡市、盛岡市教育委員会、滝沢市、滝沢市教育委員会、紫波町、

紫波町教育委員会、岩手医科大学主陵会、読売新聞盛岡支局、朝日新聞盛岡総局、

毎日新聞盛岡支局、河北新報社、岩手日報社、盛岡タイムス社、NHK盛岡放送局、

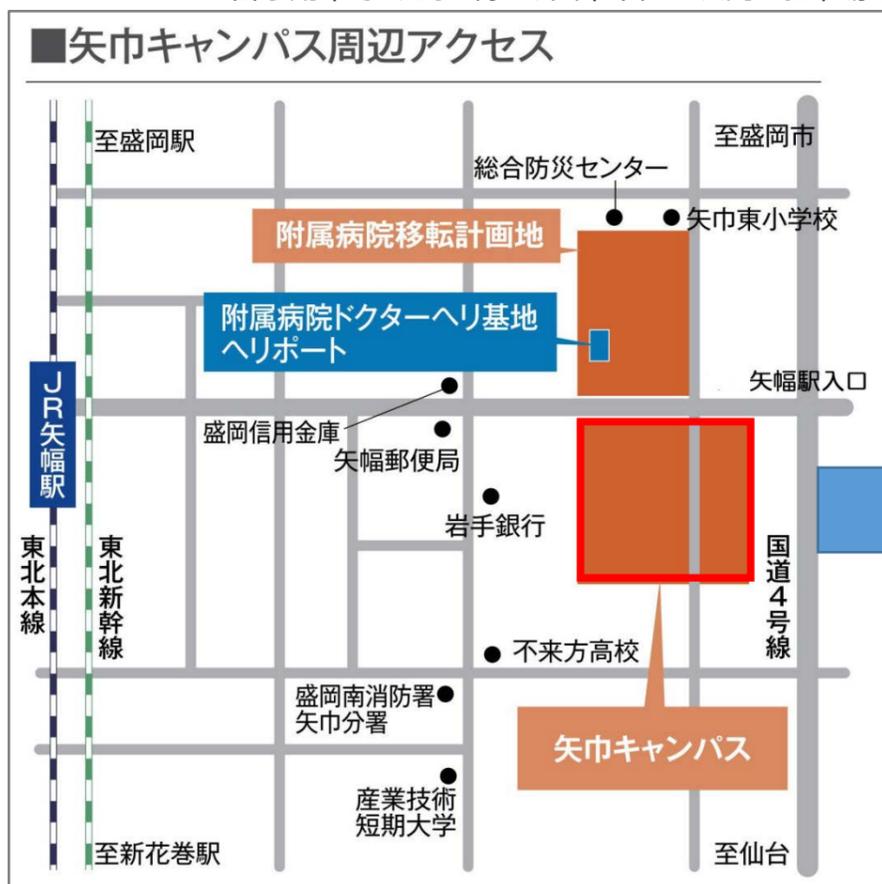
IBC岩手放送、テレビ岩手、めんこいテレビ、岩手朝日テレビ、エフエム岩手



日時	講座タイトル・講師	内 容
7月30日(火) 13:00~13:15	開 講 式	
7月30日(火) 13:15~14:45	『世界に冠たる新病院を目指して』 講師：小川 彰 学校法人 岩手医科大学 理事長	「矢巾町に新たに建設される岩手医科大学附属病院は、世界最先端の医療施設であると同時に、「患者さんにやさしい病院」、「医師・医療人が患者さんに寄り添う病院」というコンセプトのもと運用します。これらのコンセプトは新病院の設計に生かされています。患者さんにやさしい、患者さんに寄り添うとは何かについてお話しします。
7月31日(水) 10:20~11:50	『これからの医療はどこへ向かうのか -岩手医大と総合診療の役割-』 講師：下沖 収 岩手医科大学附属 内丸メディカルセンター長	急激な超高齢化と人口減少の中、医療介護提供体制の変革が喫緊の課題であります。医師偏在、働き方改革など地域の医療環境が厳しさを増す中で、活躍が期待されるのが総合診療医であります。講師の考える地域医療の近未来像と、附属病院移転後の内丸メディカルセンターが高度外来機能とともに果たすべき地域医療への貢献について考察いたします。
7月31日(水) 13:00~14:30	『口腔から繋がる健康長寿』 講師：小林 琢也 歯学部 補綴・インプラント学講座 摂食嚥下・口腔リハビリテーション学分野 教授	「最期まで健康でいたい」、それは生きているうえで誰もの願いでしょう。しかし、平均寿命と健康寿命の格差は大きいです。近年、全身健康の維持に摂食嚥下機能が大きな役割を果たしていることがわかってきました。今回は、歯科と内科および多職種連携が生み出す、これからの健康延伸の形についてお話をさせていただきます。
8月1日(木) 10:20~11:50	『あなたの知らない生活習慣病の世界 ~知っているようで知らない生活と病の関係~』 講師：三浦 幸枝 看護学部 共通基盤看護学講座 特任准教授	生活習慣病とは、日常の乱れた生活習慣の積み重ねによって引き起こされる病気です。かつては“成人病”と呼ばれていました。生活習慣病は、日々の生活習慣が広範な病気に繋がっていくというのが特徴です。本日は、生活習慣病についての情報と、ご自分の体に気を配る大切さについてお話させていただきます。
8月1日(木) 13:00~14:30	『我が国における医療の近未来と 新しい岩手医科大学附属病院』 講師：小笠原 邦昭 岩手医科大学附属病院長	我が国は世界保健機構によれば医療が最も充実している国とされています。さらに、新治療が次々と開発され、一見国民の健康の未来は明るく感じられます。しかし、一方であまりにも高い医薬品の出現、医療従事者の働き方改革等に翻弄されているのも事実です。この環境で、岩手医大新附属病院は「患者さんにやさしい病院」をコンセプトとし、高度治療・入院機能を持つ特定機能病院として整備し、北東北・北海道も視野に入れた三次医療の拠点エリアになることを目指します。また、本学で実践している一人の患者に複数の医療専門職が連携して治療やケアに当たるチーム医療についてもお話致します。
8月1日(木) 14:30~14:45	閉 講 式	

※1日だけの受講、午前・午後のみのお受講も可能です。

- アクセス ・JR 矢幅駅より徒歩で約 30 分。(1.4 km)
- ・自家用車でお越しの際は、矢巾キャンパス内の駐車場をご利用ください。(下図参照)



拡大図

